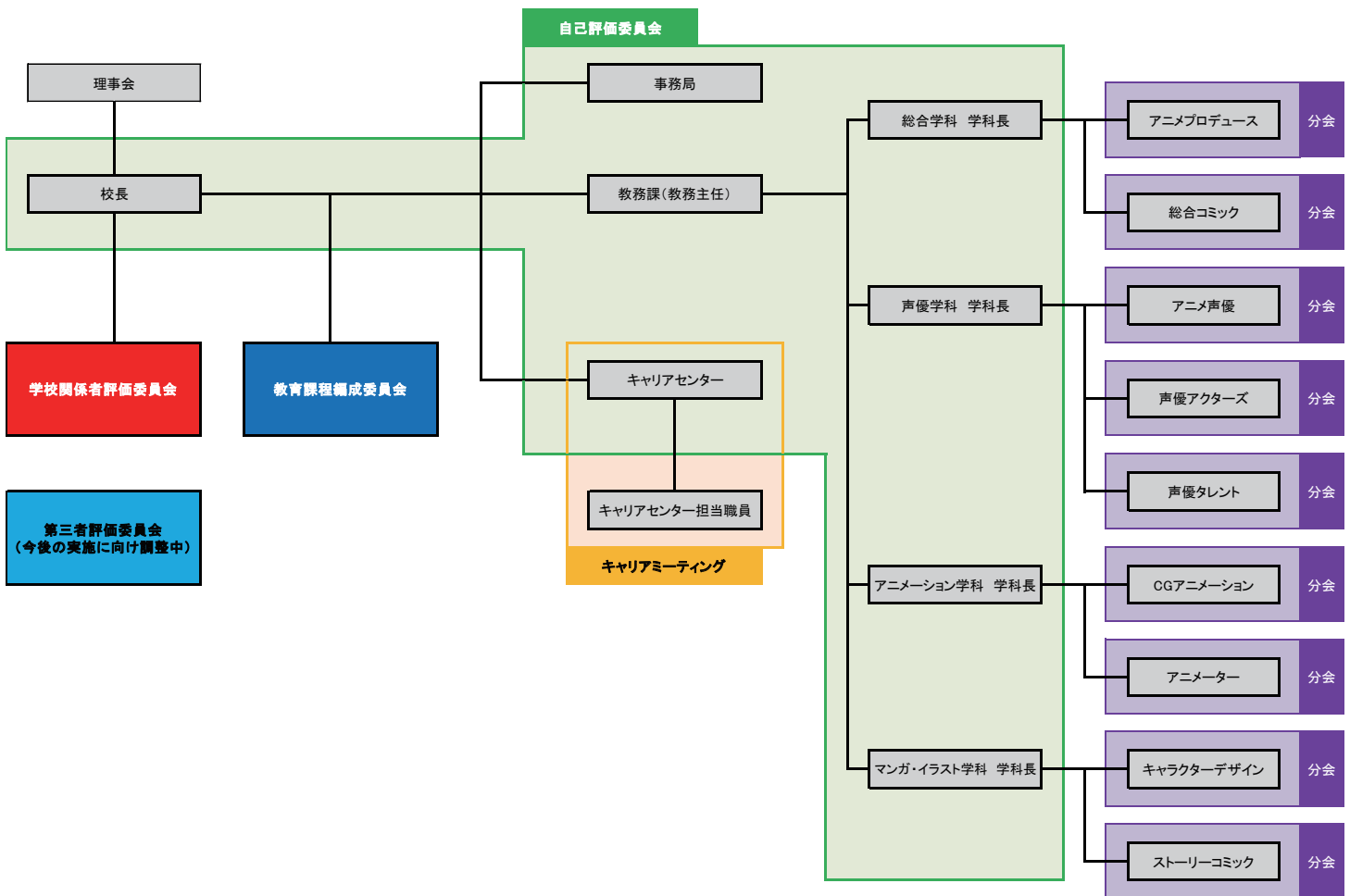


教職員について

分野名	認定課程名	学科名	専任教員数	兼任教員数	合計教員数
文化・教養	専門課程	総合学科	3名	2名	5名
		声優学科	6名	35名	41名
		マンガ・イラスト学科	3名	10名	13名
		アニメーション学科	4名	2名	6名

※事務職員除く

大阪アニメーションカレッジ専門学校 運営組織図



声優

「もののけ姫」アシタカ役、「風の谷のナウシカ」アスベル役
松田洋治先生

東京アニメーションカレッジ専門学校 講師
 大阪アニメーションカレッジ専門学校 特別講師 担当授業：舞台制作

**感動を与える演技をつかむため
一緒に頑張っている。**



役者として、あるいは声優としてこの業界に入るのは、それほど難しいことはありません。勝負はデビューしてから。本当に人を魅了し感動を与える、与え続けるには相当の努力が必要となります。演じることは、役そのものになりきること。考え抜いて可能性すべてを検討し、最後にそぎ落とす。それでも残るのが本当に必要な部分で、それが自分にしかできない演技となる。

ではないでしょうか。声優は声だけですべてを表現しなければならず、特殊な専門技術を必要とします。声優として良い仕事をしていくことは大変です。でも面白い！仲間と一緒に作り上げていく感動もある。とても素晴らしい仕事であると断言できます。

「もののけ姫」アシタカ役、「風の谷のナウシカ」アスベル役とスタジオジブリ作品2本の主演声優を演じた、ただ一人の存在。
 蛭川幸雄、青井陽治らの著名演出家の舞台に多数出演。

アニメーター・漫画家

「機動戦士Zガンダム」「機動戦士ガンダムZZ」作画監督
北爪宏幸先生

東京アニメーションカレッジ専門学校 講師
 大阪アニメーションカレッジ専門学校 特別講師 担当授業：アニメーション実習

**自分の感性を大切にすること。
そして、信じるのが大切。**



絵の勉強を真剣に始めると、ある時自分がヘタになったと感ずることがあります。スランプといわれるものです。これは実際にヘタになったのではなく、絵を見る感性が描く技術よりも先行して向上したために起る現象だと私は解釈しています。追い求める理想に描く技術が追いつかない状態です。描きたい理想に少しでも近づきたい、でもその方法が分からない。これを見つけていくのが

絵の勉強だと私は考えます。言い換えれば、自分の絵がうまいと思っている人は、その時点では、それ以上うまくならないのです。自分の絵はまだだめで、もっと良い絵を描きたいと思う気持ちが、実は絵の上達に一番必要なものではないかと私は考えています。

「機動戦士Zガンダム」「機動戦士ガンダムZZ」「機動戦士ガンダム 逆襲のシャア」「モルグリバー」ほか作品多数。月刊ガンダムエースにて「機動戦士Zガンダム Define」を連載。

美術監督

「火垂るの墓」「もののけ姫」スタジオジブリ作品美術監督
山本二三先生

東京アニメーションカレッジ専門学校 背景美術特別講師

**スタッフの支え合いが
作品を通して観客に感動を与える。**



長編アニメーション映画に携わるスタッフの人数は1000人を越える時もあります。単なる存在でなく、役割が個々で違いますが、お互いが最高のクリエイターになった時、すばらしいアニメーション映画ができると思います。いい映画はスタッフの支え合いの結実です。諦観を持たず、歩み続けるというのが作品に出会うと思います。

「天空の城ラピュタ（美術監督）」「火垂るの墓」「もののけ姫」などスタジオジブリ作品で美術監督を務める。「時をかける少女」「川の光」「未来少年コナン」「じゃりン子チエ（劇場版）」「ファンタジックチルドレン」美術監督、「ルパン三世 カリオストロの城」「耳をすませば」「千と千尋の神隠し」などの背景を担当。「ミヨリの森」では監督を務める。

声優

浜口 悟 先生

担当授業：演技実習



自分の熱さを存分に爆発させられる学校!

この学校の講師と職員、学生たちの地熱の高さはどこにも負けません。学ぶことの厳しさも苦しさも、全部を楽しんでください。それが将来、仕事や人生で生かされるはずですから。学生たちの成長を全力でサポートします!

声優

奥田 あゆみ 先生

担当授業：声優実習・ボイスコントロール



演技に直結する個性をしっかりと伸ばす。

アニメのアテレコや外画の吹き替えを通して、役に命を吹き込んでいく仕事は本当にやりがいのある仕事です。声優実習を通じてさまざまな役に対応できる表現力を身に付けていきます。また、仲間と切磋琢磨しながら創りあげていく作品で達成感を感じ、成長してほしいと願っています。

声優

郭 宜笑 先生

担当授業：ボーカルゼミ



仲間と切磋琢磨できる環境でレベルアップ!

自分が「こう表現したい」と思った通りの声を操ることのできるように音と声のつながりから発声の仕組みまで、基礎からボイスコントロールを身につけます。さらにボーカル指導では、メロディや歌詞を分析したうえで歌唱する、プロとしての実践的方法論までを学びます。まかせて下さい! 必ず歌はうまくなります。

声優

mio先生

担当授業：放送実習



心を言葉に変えて『伝える力』と『繋げる力』を!

人と人の繋がりが未来を左右するこの業界に、コミュニケーション力は必要不可欠。ラジオ番組制作を通して「気持ちを言葉に変えて人の心を動かす」ことを学びましょう。フリーワークにチャレンジするうちに、きっと自分にしかない魅力や武器に気付けますよ!

声優

豊田 記子 先生

担当授業：放送実習



言葉で『気持ち』を伝える“スキル”を身につける。

放送実習1で学ぶのはフリーワーク。「自由に喋るのは難しそう…」心配はいりません。ラジオ番組の制作・MCやリポートの実習等を通じいつの間にかフリーワークのコツが身に付きます。「自分の言葉で人に気持ちを伝える」これは一生モノのスキルです。もうオーディションの自己PRもコワくない!

声優

白波瀬 勲 先生

担当授業：アナウンス実習



「好き」を仕事にする楽しさを感じてほしい。

ニュース、DJ、テレビショッピング、ナレーションや司会といったキャリアから、きちんと意味が伝わる読み、印象の良い話し方を指導しています。自分の好きなこと、得意なことが「仕事」になり、人に喜んでもらえる…幸せなことです。「好き」という気持ちを大事にしましょう!

アニメーション

橋本 純一 先生

担当授業：アニメーション制作



基礎を徹底的に身に付ける!

常に完成形を考えながらの絵作りができる人になってほしいですね。授業では、画を作るための技術や考え方を習得してもらえるように心掛けています。動画の仕事の中で大切なクリンナップの作業やデッサンは、毎日作業することで上達します。

アニメーション

浅尾 典彦 先生

担当授業：アニメコミック概論/シナリオ



作品の「楽しさ」を知ってほしい!

自分の世界だけにとどまらず、さまざまな過去の作品の歴史や最新作を通して、まずは知識を広げてください。そこでの感動がベースとなり、イメージーションが豊かに広がり、発想力の源をつくることのできるのですから。

アニメーション

又木 義隆 先生

担当授業：背景実習



初心を忘れず、常に上を目指すプロになろう!

背景美術も含めてアニメの世界は変化し進歩し続けています。だから僕達も常に向上しなければいけない。いろいろな経験を積み重ね、新たな知識・技術を吸収していくことが必要です。つらいことも「アニメ制作に関わりたい!」と思った最初の気持ちを忘れずこの道に賭ける覚悟を決めて乗り越えましょう。

アニメーション

伊丹 シゲユキ 先生

担当授業：3DCG 実習



手間は惜しまずに本物を目指そう!

クリエイターやアーティストにとって最も大切なことはイメージーションを持つことです。絶えず空想し、自分の世界を夢見てください。そしてその世界を実現化し表現するために技術やソフト、ルールを習得してください。自分に才能があるか無いかで悩むのは30年後に取っておいて、先ずは始めて、そして続けること!

マンガ・イラスト

有満 明美 先生

担当授業：プロダクト制作/ポートフォリオ制作



キャラクターの完成する喜びを味わって!

「プロダクト制作」では、商品企画のためのキャラクターデザイン等、授業を通して学習します。「絵を描くことが好き」で終わるのではなく、絵を描くことが社会に役立つことを知り、作品を制作する楽しさやさまざまな苦労を乗り越えて完成させていく喜びを味わって欲しいです。

マンガ・イラスト

岡田 ユキオ 先生

担当授業：制作実習



感性のアンテナを常に立てる!

プロのマンガ家になるということをしかりと目標としてとらえ実習していきます。そのためにはとにかく描くことです! 描けば描くほど必ず結果はついてきます。そして、その作品のヒントは、なんでもない日常の中に隠れています。それを見逃さないためにも感性のアンテナを常に立てておきましょう!

マンガ・イラスト

岩里 慶子 先生

担当授業：ビジネスコミック



読者のニーズに応える感覚を身につける。

漫画表現は商品紹介や解説本など、需要は増える一方です。ビジネスコミックでは、そのような要請に応えることをねらいとして、「自分が何を描きたいか」を横に置き「クライアントは何を望んでいるのか」を考えることを鍛錬しています。

マンガ・イラスト

樋口 晃史 先生

担当授業：デッサン



描き続けることが画力をつける近道。

「描きたいモノを描けるチカラ」デッサンは絵を描くための底力。見たモノを自分の思い通りに描けるようになるには、常にトレーニングが必要です。強い線、弱い線、キチンとした基本を身につけると、それぞれのオリジナルを生み出せるようになります。1歩踏み出したら描きまくる! たくさん描けば必ずと画力もついてくるでしょう。